

部の運営方針・課の目標設定書(平成31年度)

部コード	10	部名	消防本部	部長名	深山 和義
1. 部の運営方針(予算編成・実施計画策定方針などを踏まえて、基本計画の分野別計画や重点プロジェクト、所管に係る分野別基本計画の目標を考慮して、部の目標を達成するための方針を記入)				部の運営方針に対する課の目標への取組結果	
<p>○市民の生命・身体・財産を火災や各種災害から守り、災害の防止や被害の軽減に努めるため、次の取り組みを進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の安全安心を確固たるものとするため、消防団、女性防火クラブ、幼年消防クラブ、自主防災組織やその他の外郭団体と連携し、更なる消防防災体制の強化に努めます。 柏市との消防指令業務共同運用では、広域的な消防・救急救助体制の強化を図り、市民生活の安全安心確保を促進するため、緊急通報や各種災害への迅速な対応に努めます。また、2020年度から千葉県北西部10市による共同指令業務が開始されることから、共同指令センター整備基本計画書(北西部ブロック第2期整備)に基づき、計画的に整備を進めます。 住宅火災による死傷者ゼロを目指し、住宅用火災警報器の設置と適正な維持管理の促進に努め、各種訓練やイベントを通じて防火・防災意識の高揚を図り、予防啓発を行います。 公表に該当する重大な消防法令違反のある防火対象物を出さないため、人命危険や火災の発生危険が高い建物の立入検査を重点的に実施するとともに、消防法令違反に対する徹底した是正指導を行い、市民の安全安心の確保に努めます。 環境の変化に伴う複雑多様化するあらゆる災害に対し、積極的かつ果敢な業務遂行ができるよう専科教育、幹部教育を行い、経験と知識を十二分に活用できる教育研修体制の確立に努めます。また、消防職員の服務規律の確保を推進するため、職員の倫理教育を徹底し、組織の強化を図ります。 消防団を中核とした地域防災力の充実強化を一層推進していくため、防災活動の担い手である消防団員の確保、装備の充実に努めます。また、あらゆる災害に対応できるよう消防団員に対して必要な教育、訓練を行い、育成強化を支援します。 消防団器具置場については、災害時の活動拠点として重要な役割を担う施設のため、建築経過年数且つ老朽化が進む施設から計画的に整備を進めます。 救急救命体制を強化・充実するため、メディカルコントロール体制を基本とした病院前救護の確立に取り組むとともに、救急救命士の育成、資機材等の整備を進めます。また、一般市民に対する救命講習会の開催、自動体外式除細動器(AED)の普及と民間事業所への設置を促進し、救命率の向上につなげます。さらに、緊急性のない救急出動については、民間の活用を促すとともに、適切な救急要請を行うようPRに努めます。 災害時の活動拠点となる消防施設については、我孫子市消防庁舎施設等整備計画に基づき、老朽化した消防施設の修繕を計画的に行い、消防力の強化に努めていきます。東消防署湖北分署及び総合訓練施設の整備については、「湖北台地区公共施設の整備方針」に基づき、計画的に整備を進めます。 				<ul style="list-style-type: none"> 千葉県消防学校や消防大学校に入校させ、また各種講習等への参加を実施し専門的な知識や技術の習得を進め、災害対応への強化を図った。 消防職員の人事管理については、不祥事防止に向けた行動計画目標を定め、服務規律確保に向け、ハラスメントの防止やコンプライアンスの遵守を柱に研修や部内啓発を実施し、組織体制の維持を図った。 災害への活動拠点となる庁舎や車両といった施設、設備の点検や改修、整備を行い、即応体制の維持・強化に努めた。また、消防施設等整備事業では、開所に向け用地売買契約を完了させるとともに、設計に向けた協議を関係課を始め、地権者や地域住民と実施した。 消防団、女性防火クラブ、幼年消防クラブと連携し、消防出初式を実施した。 	
				部の運営方針に対する部全体の総合評価	
				<p>部の運営方針に沿った各課の事務事業を適切に実施したことで、消防体制が維持され、災害への即応体制が確保されたことにより、被害の軽減に繋がったものと評価できる。</p> <p>今後も更なる消防体制の強化充実を図るため、現状の把握に努め、計画的な人員確保と指導・育成を実施するとともに、施設や設備、車両等の管理、更新整備に取り組む必要がある。</p> <p>また、引き続き、消防団や女性防火クラブ、自主防災組織等の関係団体との連携を蜜に図りながら、予防広報・啓発活動を実施し、災害を予防し、軽減するための取組みが必要である。</p>	

課コード	01	課名	総務課	課長名	飯塚 義浩
2. 課の目標(部の運営方針を受けて課の取組方針を記入)				部の運営方針に対する課の目標への取組結果	
<ul style="list-style-type: none"> 職員の知識の向上と職務能力を高めるため、教育研修体制の充実に努めます。また、消防職員の服務規律確保推進のため、職員の倫理教育を徹底し、組織の強化を図ります。 災害時の活動拠点となる老朽化した消防施設については、我孫子市消防庁舎施設等整備計画に基づき計画的に修繕を行い消防力の強化に努めます。東消防署湖北分署の整備については、「湖北台地区公共施設の整備方針」に基づき、計画的に整備を進めます。 				<ul style="list-style-type: none"> 消防職員の資質の向上を図るため、千葉県消防学校や消防大学校に入校させ、また各種講習等への参加を実施し専門的な知識や技術の習得を進め、災害対応への強化を図った。 消防職員の人事管理については、不祥事防止に向けた行動計画目標を定め、服務規律確保に向け、ハラスメントの防止やコンプライアンスの遵守を柱に研修や部内啓発を実施し、組織体制の維持を図った。 災害への活動拠点となる庁舎や車両といった施設、設備の点検や改修、整備を行い、即応体制の維持・強化に努めた。また、消防施設等整備事業では、開所に向け用地売買契約を完了させるとともに、設計に向けた協議を関係課を始め、地権者や地域住民と実施した。 消防団、女性防火クラブ、幼年消防クラブと連携し、消防出初式を実施した。 消防関係表彰事務を実施し、職員の士気高揚と消防業務の重要性の再認識を図った。 	
3. 課の目標を達成する上での課題と対応(人員の配置、組織のあり方など)					
<ul style="list-style-type: none"> 消防応援・受援体制を確保するため、大規模災害に対応できる体制を確立する必要がある。 消防力の整備指針に基づく人員の適正配置及び組織の見直しが必要である。 災害時に活動拠点となる消防庁舎の老朽化が著しいため、我孫子市消防庁舎施設等整備計画に基づき計画的に修繕を進められるよう組織的な対応が必要である。 					

4. 原因分析・改善策	
<p>(課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> 各事務事業を適切に実施したことにより、消防体制の維持、確保が図られ、各種災害への即応体制を維持することができた。 消防職員の更なる資質の向上と消防力の整備指針を基準とした人員の確保を図るため、一層の採用広報や体制整備、指導育成体制の充実にに向けた取組みを推進する必要がある。 災害時活動拠点である消防庁舎及び付帯設備等の老朽化に対応するため、施設等の状況を的確に把握するとともに、個別施設計画(修繕計画)に基づき、整備・更新・修繕を計画的に進める必要がある。 	<p>(部長)</p> <ul style="list-style-type: none"> 各事務事業を適切に実施したことにより、消防体制の維持、確保が図られ、各種災害への即応体制を維持することができた。 消防団や女性防火クラブ、自主防災組織の他外郭団体、関係団体との情報共有や連携を更に強化し、消防体制の強化充実を引き続き取り組む必要がある。 災害即応体制の更なる強化充実を図るため、消防力の整備指針や個別施設計画(修繕計画)等に基づき、人員の確保や消防庁舎施設及び車両装備の計画的な整備及び管理を進めていく必要がある。

5. 課の目標を達成するために取り組む事務事業										
事務事業名(個別事業)		重づけ該当	施策コード	指標	単位	現況値	目標値	実績値	達成率(%)	評価
1	外郭団体等事務運営	重無	70201	消防関連団体事業への参加率	%	100	100	100	100	現状
2	消防出初式の開催・運営	重無	70201	消防職、団員の出席率	%	69	100	76.5	76.5	現状
3	消防庁舎・装備の維持管理	重無	70201	我孫子市消防庁舎施設等の適正管理率	%	100	100	100	100	現状
4	消防職員の人事異動	重無	70201	異動者数(5年間未異動者数・管理職を除く)	人	8	10	8	80	現状
5	消防職員の派遣研修	重無	70201	消防職員の派遣研修への参加率	%	100	100	100	100	現状
6	消防表彰事務	重無	70201	表彰受章者率	%	100	100	100	100	現状
7	消防車両等の維持管理	重無	70201	消防車両等の整備の実施率	%	100	100	100	100	現状
8	職員履歴の管理	重無	70201	当該年度発生した職員履歴(消防職員管理システム)の修正入力	%	100	100	100	100	現状
9	職務環境の維持管理	重無	70201	職務環境の維持管理事業の実施率	%	100	100	100	100	現状
10	貸与品の整備	重無	70201	貸与品要望に対する充足率	%	100	100	100	100	現状

5. 課の目標を達成するために取り組む事務事業										
事務事業名（個別事業）		重 施 該 当	施 策 コ ー ド	指 標	単 位	現 況 値	目 標 値	実 績 値	達 成 率 (%)	評 価
11	消防施設等整備事業	重無	70201	東消防署湖北分署庁舎等用地取得に係る進捗率	%	100	100	100	100	現状
12	消防審議会	重無	70201	審議会の開催件数	件	0	3	0	0	現状

部の運営方針・課の目標設定書(平成31年度)

部コード	10	部名	消防本部	部長名	深山 和義
1. 部の運営方針(予算編成・実施計画策定方針などを踏まえて、基本計画の分野別計画や重点プロジェクト、所管に係る分野別基本計画の目標を考慮して、部の目標を達成するための方針を記入)				部の運営方針に対する課の目標への取組結果	
<p>○市民の生命・身体・財産を火災や各種災害から守り、災害の防止や被害の軽減に努めるため、次の取り組みを進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の安全安心を確固たるものとするため、消防団、女性防火クラブ、幼年消防クラブ、自主防災組織やその他の外郭団体と連携し、更なる消防防災体制の強化に努めます。 柏市との消防指令業務共同運用では、広域的な消防・救急救助体制の強化を図り、市民生活の安全安心確保を促進するため、緊急通報や各種災害への迅速な対応に努めます。また、2020年度から千葉県北西部10市による共同指令業務が開始されることから、共同指令センター整備基本計画書(北西部ブロック第2期整備)に基づき、計画的に整備を進めます。 住宅火災による死傷者ゼロを目指し、住宅用火災警報器の設置と適正な維持管理の促進に努め、各種訓練やイベントを通じて防火・防災意識の高揚を図り、予防啓発を行います。 公表に該当する重大な消防法令違反のある防火対象物を出さないため、人命危険や火災の発生危険が高い建物の立入検査を重点的に実施するとともに、消防法令違反に対する徹底した是正指導を行い、市民の安全安心の確保に努めます。 環境の変化に伴う複雑多様化するあらゆる災害に対し、積極的かつ果敢な業務遂行ができるよう専科教育、幹部教育を行い、経験と知識を十二分に活用できる教育研修体制の確立に努めます。また、消防職員の服務規律の確保を推進するため、職員の倫理教育を徹底し、組織の強化を図ります。 消防団を中核とした地域防災力の充実強化を一層推進していくため、防災活動の担い手である消防団員の確保、装備の充実に努めます。また、あらゆる災害に対応できるよう消防団員に対して必要な教育、訓練を行い、育成強化を支援します。 消防団器具置場については、災害時の活動拠点として重要な役割を担う施設のため、建築経過年数且つ老朽化が進む施設から計画的に整備を進めます。 救急救命体制を強化・充実するため、メディカルコントロール体制を基本とした病院前救護の確立に取り組むとともに、救急救命士の育成、資機材等の整備を進めます。また、一般市民に対する救命講習会の開催、自動体外式除細動器(AED)の普及と民間事業所への設置を促進し、救命率の向上につなげます。さらに、緊急性のない救急出動については、民間の活用を促すとともに、適切な救急要請を行うようPRに努めます。 災害時の活動拠点となる消防施設については、我孫子市消防庁舎施設等整備計画に基づき、老朽化した消防施設の修繕を計画的に行い、消防力の強化に努めていきます。東消防署湖北分署及び総合訓練施設の整備については、「湖北台地区公共施設の整備方針」に基づき、計画的に整備を進めます。 				<ul style="list-style-type: none"> 消防団との連携強化を目的に訓練を実施するとともに、地域に密着した消防団活動を充実させ、広く消防団活動を広報することで、団員減少への対策となる消防団普及啓発活動を実施した。 救命率向上のため、救命士の育成、講習会の開催、資機材等の整備を進めるとともに、24時間営業コンビニエンスストアへAEDを設置した。 また、市内AED設置施設登録事業の拡充を進めた。 消防団充実強化法に基づき、消防団員用雨衣の配備を実施した。 	
				部の運営方針に対する部全体の総合評価	
				<p>部の運営方針に沿った各課の事務事業を適切に実施したことで、消防体制が維持され、災害への即応体制が確保されたことにより、被害の軽減に繋がったものと評価できる。</p> <p>今後も更なる消防体制の強化充実を図るため、現状の把握に努め、計画的な人員確保と指導・育成を実施するとともに、施設や設備、車両等の管理、更新整備に取り組む必要がある。</p> <p>また、引き続き、消防団や女性防火クラブ、自主防災組織等の関係団体との連携を蜜に図りながら、予防広報・啓発活動を実施し、災害を予防し、軽減するための取組みが必要である。</p>	

課コード	03	課名	警防課	課長名	逆井 和男
2. 課の目標(部の運営方針を受けて課の取組方針を記入)				部の運営方針に対する課の目標への取組結果	
<ul style="list-style-type: none"> 担当職員的能力を活かしつつ、事務分掌を見直すなど総合的管理体制の充実を目指します。 災害発生時、迅速な応援・受援活動が図れる体制の構築を目指します。 消防団施設・装備の維持補修を計画的に実施し、安全確実な防災拠点の構築を目指します。 医療機関との連携を図りつつ、消防業務のアピールを推進するとともに、救急高度化を推進する業務運営を目指します。 消防団本部役員と調整を図り、消防団員の入団促進・知識の習得・技術の向上は基より一層の連携強化を図ることを目指します。 地域に密着した消防団の活用を積極的に図るとともに、老朽化の著しい器具置場について、組織再編も視野に入れながら、改築及び市所有施設の再利用などを検討し、順次進めていきます。また、消防団員の育成強化に努めると共に、地域防災の担い手である消防団員数の増加に向けて取り組んでいきます。 病院外心停止の救命を促進することを目的とし、自動体外式除細動器(AED)を公衆の出入りが多い施設に設置促進を図るとともに、市民の救命意識の向上を図るため、救命講習を開催するなど救急救命への啓発活動を積極的に行います。また、重症患者の救急要請に確実に対応できる体制確保のため、救急車の適正利用啓発を行います。 救命効果の向上を図るため、救急救命士の養成、救急救命士の処置拡大をはじめとする救急業務実施体制の強化に努めます。 各種研修等は、市民の安全を担う消防職員に求められている知識、技術、経験、資格等が広範に亘ることから、多くの研修に積極的に参加し、各種災害に的確に対応できる隊員の育成を目指します。また、指導的立場の隊員を育成し経験豊富な隊員が指導を行うことで、救急救助業務の質の向上と教育訓練体制の充実強化を目指します。 大規模災害に対応できる体制のために、デジタル化された消防・救急無線の維持管理を徹底し、県下消防本部との消防応援・受援体制を確保します。 柏市との消防通信指令業務共同運用の充実強化を図り、緊急通報や各種災害への迅速な対応に努めます。また、共同指令センター整備基本計画書(北西部ブロック第2期整備)に基づき、2020年度の運用開始に向け計画的に整備を進めます。 				<ul style="list-style-type: none"> 我孫子市公共施設等総合管理計画に基づく消防団器具置場個別施設計画の通り、老朽化の著しい第9分団器具置場の移転・新築工事を実施した。 医療機関との連携及び救急高度化の推進を図るため、東葛飾北部地域救急業務メディカルコントロール協議会を中心とした研修や医師等による救急活動の事後検証に救急隊員を参加させることで、救急隊員のレベルアップを図れた。 公共施設に続き民間事業所へのAED設置を推進するとともに、市民の救命に対する意識の向上を図るため、救急救命士の育成、処置拡大をはじめとする救急業務実施体制の強化を図れた。 減少傾向が続く消防団員の入団促進を目的として、消防団本部付け団員制度を令和2年4月から導入できるように規則改正等を実施した。 	
3. 課の目標を達成する上での課題と対応(人員の配置、組織のあり方など)					
<ul style="list-style-type: none"> 災害発生時迅速に応援、受援活動体制を構築するうえで更なる資機材の整備を充実する必要があります。 地域防災の要である消防団の施設、及び装備の充実を図り団員定数確保が必要である。 救急業務を実施するうえで、東葛飾北部地域救急業務メディカルコントロール協議会に係る医療機関との継続的な契約、連携体制の強化が必要とされます。 今後の高齢化に伴う救急件数の伸び率を分析し、市民の救急要請に確実に対応できる体制づくりが必要である。 					

4. 原因分析・改善策	
<p>(課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害に対して迅速な対応を可能にするため、資機材の整備を推進し消防力の強化に努める必要があります。 地域防災の要である消防団の施設及び装備の充実を計画的に進めるとともに、普及啓発活動を継続的に実施し、消防団員の確保が必要とされます。 	<p>(部長)</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種災害対応に備え、車両及び資機材を計画的に整備し、維持管理を的確に実施することにより消防体制の万全を図りたい。 消防団については、常備消防との連携強化、団員の入団促進、教育訓練機関への派遣、装備の充実が必要不可欠であり、継続的に推進していく。

5. 課の目標を達成するために取り組む事務事業									
事務事業名(個別事業)	重宝該当	施策コード	指標	単位	現況値	目標値	実績値	達成率(%)	評価
1 消防水利の整備、維持管理	重無	70201	消防水利の充足率	%	72	73	72	98.63	現状
2 消防団装備品等の整備及び維持管理	重無	70203	貸与品の貸与率(貸与規則貸与物品の充足率)	%	80	85	85	100	現状
3 消防団施設維持管理	重無	70203	適正管理率(修繕等実施件数/修繕等必要件数)	%	85	87	85	97.7	現状
4 消防装備の維持管理事務	重無	70201	適正管理率(修繕等実施件数/修繕等必要件数)	%	100	100	100	100	現状
5 緊急消防援助隊対応事業	重無	70201	緊急消防援助隊応援マニュアル/現在の保有状況	%	91	92	91	98.91	現状
6 開発行為の指導・協議	重無	70201	適正に設置された消防施設の整備率	%	100	100	100	100	現状
7 消防団人事・報酬・表彰事務	重無	70203	適正管理率(処理実施件数/処理必要件数)	%	100	100	100	100	現状
8 メディカルコントロール体制の充実	重3	70202	救急活動に対する契約医療機関収容率(契約病院収容件数/全救)	%	78	100	70	70	現状
9 救命講習会及び応急手当普及員の養成	重3	70202	年間救急講習等受講者人数(一般・普通・上級・普及員講習会)	人	4,999	5,300	5,385	98.42	現状
10 救急・救助活動車両・資機材の整備・管理	重3	70202	救急車両及び資機材の点検実施管理(修繕、修理回数/修繕等必)	%	100	100	100	100	現状

5. 課の目標を達成するために取り組む事務事業										
事務事業名（個別事業）		重 施 該 当	施 策 コ ー ド	指 標	単 位	現 況 値	目 標 値	実 績 値	達 成 率 (%)	評 価
11	救急・救助隊員の安全衛生管理	重3	70202	救急救助活動に対する公務感染災害率（救急救助活動公務感染災	%	100	100	100	100	現状
12	救急・救助隊員の研修	重3	70202	受講者の理解度（研修内容を理解した受講者数／受講者）	%	100	100	100	100	現状
13	救急救命士の研修	重3	70202	研修を必要とする救急救命士の人数（研修該当救命士人数／全救	%	100	100	100	100	現状
14	消防団の水防活動	重3	70104	水防出場中の業務遂行達成数（出動回数／業務達成数）	%	100	100	100	100	現状
15	消防団員の訓練	重無	70203	訓練参加率（参加団員数／想定参加団員数）	%	90	95	90	94.74	現状
16	消防団車両等の維持管理事務	重無	70203	車両整備率（21台）（実施件数／必要件数）	%	100	100	100	100	現状
17	救急隊員への新型インフルエンザ感染防止対策	重3	70202	新型インフルエンザ感染防止装備キット救急隊員配布数（6,552	セッ	164	164	164	100	現状
18	消防団の広域的な連携	重無	70203	協会及び支部関連行事への出席率	%	100	100	100	100	現状
19	消防団員の入団促進	重無	70203	団員充足率	%	88	90	85	94.44	現状
20	消防隊員の資格取得	重無	70201	資格取得率（取得者／必要者）	%	73	75	75	100	現状
21	患者等搬送事業者の指導・認定	重3	70202	患者等搬送事業者認定者数	者	1	2	0	0	現状
22	消防団の装備の充実	重無	70203	配備率	%	70	100	100	100	現状
23	AED設置促進	重3	70202	AED設置事業所（公共施設含む）数	施設	210	220	242	110	現状
24	千葉北西部10市消防通信指令業務の共同運用	重無	70201	10市の共同指令センター整備計画に基づく当該年度の進捗率	%	100	100	100	100	現状
25	柏市・我孫子市消防通信指令業務の共同運用	重無	70201	正確な災害情報の収集	%	100	100	100	100	現状
26	消防・救急無線（デジタル化）広域化及び共同化整備事業	重無	70201	消防救急デジタル無線の保守整備	%	100	100	100	100	現状

